

1万羽の折鶴に

佟 玲

中国・21歳・大学生

黄葉は一枚一枚ぱらぱらと落ちて、秋になりましたね。もしあなたがそばにいたら、きっと「寒くなったね。風邪ひくなよ」と言ったでしょう。でも、今は……。

あの日、いつまでも忘れられないあの日。私達が話しながら学校から帰る途中、向こうからブレーキが利かなくなった車が飛び込んで来て、その一瞬、私を突きとばしたあなたは、そのまま車にはね飛ばされ、血の海の中にいました……。

「卒業したら、結婚しよう」と言ってくれたあなた。私はその言葉を信じてひそかに夢を描いていました。ウェディングドレスを着た二人は、手を組んでバージンロードを歩いている。あなたが好きな小犬といっしょに、波打ちぎわを走っている。ウィーンのニューイヤークンサートで二人は着飾って音楽を聞いている。仕事から帰ったあなたが、ごはんも食わずに赤ん坊をあやしている。

こんな夢を見ている時、私はとても幸せでした。でも今は、これはただ心を痛めるだけの夢です。

「いつまでもあなたといっしょにいたい」と、実は心の中で何回も繰返していたのに、あなたの前では、恥ずかしくて言い出せませんでした。今、この手紙で言い出すのは、とても遅すぎるでしょう、ゆるしてくれませんか。

時間と共に、落ち着いてきましたが、あなたの写真を見る度、やっぱり涙がとめどなく流れて、一人でいるととても淋しい、あなたの優しい声がききたい。

あなたを思いながら、毎日折鶴を折って、もう1万羽になりました。今日は、あなたの誕生日です。この手紙といっしょに、あなたのお墓の前で燃やします。折鶴一羽一羽にあなたに言えなかった私の愛のことばを書きました。天国であなたは、きっと読んでくれると信じています。私は、あなたの愛を見守って、一生、一人で生きていきます。

李さんへ

玲より

※帰郷する度に、彼のお墓の前で、話をしています。